第５０回日独スポーツ少年団同時交流事業

○日独スポーツ少年団同時交流とは

日本スポーツ少年団とドイツスポーツユーゲントは、日独スポーツ少年団同時交流として１９７４年の第１回より毎年実施している。

日本においてスポーツ少年団を創設するにあたり、理念や組織作りなど様々な面で、当時スポーツ先進国であった西ドイツを参考にしていたことがきっかけとなり、１９６５年より日独青少年交歓事業としてスタートし現在の同時交流のかたちとなった。

本事業の参加団員は１５歳～２４歳が対象で、異なる文化・言語を持つ双方の団員たちにとっての「共通言語」であるスポーツを積極的に取り入れつつ、民泊や異文化交流、ディスカッションを通して友好を深め、国際的能力を高める目的で「派遣事業」と「受入事業」の二つの事業が行われている。

派遣事業は高知県より団員２名（四国ブロックとして指導者１名と団員１０名）が、受入事業は指導者１名と団員約１０名が四国へ来訪する。（四国４県のうち３県へ訪問）

通常であれば、受入事業は市町村から希望を募り、市町村スポーツ少年団として受け入れを行ってもらっているが、昨年の時点では新型コロナウイルス感染症の影響により、市町村がドイツ団の受け入れを行うことが難しいと判断した。

そのため本年度については、まず高知県スポーツ少年団として受入を行うことで市町村の不安を払拭し、次年度以降の同時交流事業へと繋げていく。

○受入日程について

プログラム	受入場所	受入期間
全体プログラム（前半）	東京都	2023年7月26日（水）～7月28日（金）
地方プログラム（第１訪問県）	香川県三木町	2023年7月28日（金）～8月1日（火）
地方プログラム（第２訪問県）	高知県	2023年8月1日（火）～8月5日（土）
地方プログラム（第３訪問県）	徳島県阿波市	2023年8月5日（土）～8月9日（水）
全体プログラム（後半）	東京都	2023年8月9日（水）～8月11日（金）

○ドイツ団について

バーデン・ヴュルテンベルク州

【指導者】 リザ・ローゼンベルガー　女性（２４歳）

【団　員】 ８名　　内訳：男性５名、女性３名（１６歳～１９歳）

【競　技】 フェンシング、乗馬、合気道、柔術、柔道、フットボール、卓球